

COVID-19 環境下におけるスポーツ連盟/ スポーツイベント主催者のための大規模集会計画時の 検討事項

中間ガイダンス
2020 年 4 月 14 日



背景

このスポーツ向けの追加文書は、大規模集会の公衆衛生面における一般的アドバイスをまとめた「[WHO 現在の COVID-19 アウトブレイク環境下における大規模集会の計画に対する主要推奨事項](#)」と併用いただくためのものです。

この追加文書はあらゆるスポーツイベントの開催を続けるために、スポーツに特有のリスクを評価し、対応策を洗い出し、十分な情報のもとで根拠に基づいた意思決定を行うことでスポーツイベントの主催者を支援するものです。さらなるガイダンスは WHO COVID-19 大規模集会 スポーツ補足事項リスク評価ツール並びに対策チェックリストにて提供されます。

[COVID-19 テクニカルガイダンス](#)の最新版の確認も必要です。これらの文書はパンデミックの進行とともに見直しが必要で更新が行われます。

主要な課題と対策手段

それぞれのスポーツイベントについての主要な検討事項は COVID-19 大規模集会 スポーツ補足事項リスク評価ツールに記載されています。これらの主要事項はスポーツの大規模集会計画の際に検討すべき事項に対応しています。下の表にはリスク評価段階にて収集される対策手段を含んだ追加事項の概要と背景情報が記されています。

主要検討事項	コメント	リスク要素と対策チェックリスト
そのスポーツは低リスクあるいは高リスクとみなすことができますか？	<p>低リスクのスポーツとは物理的距離を保つことができるものです。例：アーチェリーや射撃、ある種のアスレチックイベントなど。これらは物理的距離についての指示にアスリートやコーチ、観客が従う場合は低リスクとなります。</p> <p>高リスクのスポーツは接触のある競技です。選手間の濃厚接触は COVID-19 の感染リスクを増大させます。</p>	<p>対策チェックリストの詳細を確認してください。</p> <p>以下を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none">● 選手の毎日の健康チェック● 選手、役員、観客とサポートスタッフらの物理的距離(1m 以上)分離● 試合・競技ごとの終了後の徹底的な殺菌● 器具の共同利用の禁止。特に水筒やカップは共用してはならない● 全ての使い捨て・反復利用可能な衛生物資(例:ティッシュ、タオル等)には蓋つきの容器の利用を検討

イベントの規模	<p>スポーツイベントの規模はリスクに関連します、</p> <p>観客とサポートスタッフがイベントに参加する場合は物理的距離の確保が必要です。それぞれのグループに対してさらなる必要検討事項があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 参加者(役員含む) ● 観客 ● 開催国(国際イベント) ● その他参加国(国際イベント) <p>一般的にスポーツイベントにおいては、参加者の人数は観客数に比べて少なめです。参加者は指示や支援、必要となればフォローアップもしやすいグループとされており、屋内スタジアムでのイベントの開催も可能かもしれません。</p>	<p>対策チェックリストの詳細を確認してください。</p> <p>イベントを全席指定、観客間の距離を1m 以上空けて、座席には接触のトラッキングができるように番号を振り、入口で体温計測を行ったうえでステッカーやリストストラップなど目に見える形での警告を行うことで、偶発的な接触を少なくすることができる可能性があります。</p>
屋内・屋外	<p>屋外のイベントは屋内に比較して換気が良い状態にあります。</p> <p>競馬やゴルフなど座席指定がないイベントでは屋外の方が、物理的距離を取らせるのは容易かも知れません。</p>	<p>対策チェックリストの詳細を確認してください。</p> <p>スポーツイベントにおいては WHO の物理的距離を置くようにとのアドバイスを守らなければなりません。</p>
会場施設	<p>施設が WHO と開催国の定める COVID-19 パンデミック中の推奨事項を満たしている、或いは満たすことができるか、会場所有者と連絡調整が必要です。</p>	<p>対策チェックリストの詳細を確認してください。</p> <p>会場で発症者が出た場合、医療施設に搬送するまで隔離しておく部屋/スペースが必要です。</p> <p>さらに、発症者を評価しその他起きうる疾病に対処するためにも、医務室と専任担当者を現場に置くことが推奨されます。</p>
参加者構成(年齢と健康状態)	<p>スポーツイベントの選手は観客より若いことが多いです。しかしながら、選手の一部やコーチ、サポートスタッフには既往症があるかも知れません。</p> <p>観客とその他のスタッフの年齢と健康状態は幅広いばらつきがあります。</p>	<p>対策チェックリストの詳細を確認してください。</p> <p>潜在的高リスク者(既往症、薬物治療中、アレルギー)を除外するため、来場前とイベント前の健康チェックを高く推奨/必須とします。</p> <p>観客には脆弱なグループがいることも考えられるので、高リスクグループには参加しないように呼び掛けることも検討しましょう。</p>
リスクの周知	<p>イベント前とイベント中、全ての参加者、スタッフ、関係者各人に公衆衛生上のアドバイスが行き渡るようにしましょう。</p>	<p>対策チェックリストの詳細と、下のイベント主催者への推奨事項を確認してください。</p> <p>観客とサポートスタッフに、COVID-19 への感染や、他者への感染を防ぐ方法についての掲示を設けましょう</p>

詳細な情報は[大規模集会と COVID-19 の Q&A](#) をご覧ください。

次章の推奨行動のチェックリストには、以下に向けたものも含まれています。

- イベント主催者
- 参加者

イベント主催者への推奨事項

これらの手法は予選など、主催者が重要であるとする他のイベントにアスリートに参加させたりトレーニングさせたりするために例外承認を当局から取得するために役立つかも知れません。エリートスポーツは極めて厳密に管理された環境であり、主催者はこれを包括的な方法で達成することができるでしょう。

スポーツアンバサダー（大使）を通じてメッセージを広く伝えることを検討しましょう。自身や周囲の健康を保ち、イベントの成功に貢献するのは全員の責務です。

イベント参加者への推奨事項	
イベント前と イベント中 (会場含む)	手洗い設備、アルコールのハンドジェルや衛生施設がイベント会場ならびに宿泊場所の複数の場所にあることを確認する。
	全ての会場、更衣室、トレーニング施設に衛生に関する掲示があることを確認する
	COVID-19 検査にて感染が疑われるケースのトリアージと(病院への)紹介ができる専属の医療プロバイダーを含む救急並びに医療サービスを提供する
	会場のチーム医療スタッフまたは地元大会組織委員会(LOC)は毎日参加者の体温を検温し、38℃以上の場合にはイベントの医療リーダーまたは医師団長に報告すること。 COVID-19 の環境下におけるすべての入国地点(国際空港、港湾、地続きの国境)における体調不良の旅行者の管理 のアドバイスを従うこと。
	感染の疑いがある者を隔離することができるかを確認する <ul style="list-style-type: none"> ● チーム/オフィシャルとイベントスタッフ ● ボランティアとサポートスタッフ
	以下についてのリスクのコミュニケーションを用意し公表する <ul style="list-style-type: none"> ● COVID-19 の臨床的特徴と感染予防手段、特に呼吸のエチケットと手の殺菌の励行 ● 症状のある人に対し会場から退出をお願いする際の基準 ● 物理的距離の情報 ● 顔の覆いと医療用マスクの使用についての情報 ● イベント中における検疫、自己隔離と自己観察の意味と実際の行い方 例: 不参加
	洗濯やタオルを扱うチームスタッフやボランティア向けのゴム手袋があるかを確認する
	タオルは1度しか使わないことを推奨する
	参加者各自に清潔な水筒を提供する
	全てのバスと更衣施設にティッシュと蓋つきの使用済みティッシュを捨てる容器を用意する
	各チームに体温計(例: 赤外線)とアスリートの体温を記録する記録シート/インターネットリンクを提供する。これができない場合は、各チームに非接触型体温計を用意することはできるか?
	COVID-19 と診断された人たちをどこで 処置し隔離 するかを決定する。
	陽性確定者の濃厚接触者をどこで 検疫隔離 するかを決める
	アスリートとチームスタッフのトレーニング場所において、COVID-19 の状況と感染ケースをどのように告知するかを決定する
	多人数のアスリートやイベントスタッフがウイルスに晒された場合、 検疫隔離 する場所を決める
	地元保健当局と緊急連絡先の取り決めをしておく
	主催者の医療スタッフと体調不良者に 医療用マスク の提供ができなければならない
	殺菌シートを提供し、会場清掃スタッフに全ての場所においてドアノブやトイレのハンドル、トイレの手洗い水栓などを毎日数回殺菌することを指示する。
	アスリート向けの、以下を含む個人用感染防止パッケージを提供することを検討する <ul style="list-style-type: none"> ● 使い捨てティッシュと、ティッシュを捨てるためのビニール袋の小型個人用パッケージ ● 主要な報告先情報を印刷したラミネートの小さな感染防止カード ● 体調不良(熱や咳、浅い呼吸などを含むすべての症状)の際に着用するマスク ● アルコールベースの手拭きの小さなパッケージ ● プラスチックの使い捨てコップの小さなパッケージ ● 体温計 ● 手指殺菌剤

イベント参加者への推奨事項	
イベント前	イベントに参加する全ての人々(アスリート、ボランティア、オフィシャル、食事提供者など)は積極的かつ定期的に健康状態(検温と症状の監視)をチェックすること
	参加予定者で体調不良の者は来場してはならず、オンラインまたは電話で専門の窓口に関連すること。
	チームスタッフとボランティアのリーダーは彼らのチームやボランティアに対して、感染の疑いのある、あるいは確認された感染者の扱い手順、感染予防と対策手順、詳細な情報の入手方法について説明すること。
イベント中	参加者は毎日の自分自身や選手の体温測定について認識し、チームの医療スタッフまたは会場の主催者のスタッフに協力し、38℃以上体温がある場合はイベントの医療リーダー/医師団長に報告すること。 COVID-19 の環境下におけるすべての入国地点(国際空港、港湾、地続きの国境)における体調不良の旅行者の管理 と同じアプローチに従うこと。
	頻繁に石鹸と水で手を洗うこと。石鹸と水がない場合はアルコールベースの手指殺菌剤を使用する。手指殺菌場所はイベント会場全体、宿泊場所とチームのバスに装備すること。
	咳やくしゃみをするときは口と鼻をティッシュか袖(手ではない)で覆うこと。呼吸エチケット(1m 以上距離を保つ)、咳やくしゃみは使い捨てティッシュか曲げた肘で覆い、その後手を洗うこと。咳が続く場合は隔離して医療上の指示を仰ぐこと。
	体調不良の人との接触を避けること。急性の呼吸感染症発症者との濃厚接触を避けること。体調が悪い場合は他人との接触を避けること。
	チームの環境内でタオルや洗濯物を扱うチームあるいはイベントスタッフは手袋を着用すること。
	タオルは共用してはならない。
	アスリートは服やせつけん、その他個人用のものを共用してはならない。
	水筒の推奨使用法
	<ul style="list-style-type: none"> ● 全選手、オフィシャルとスタッフが自分用の水筒を用い、ウイルスとバクテリアの感染を防ぐ ● ボトルには記名し、練習や試合の後は毎回洗う(食器用洗剤にて)
	自分の鼻や口を触らないようにアスリートに伝える
	握手やハグは避ける。
	スチームルームやサウナは避ける
	頻繁に触れるものの定期的な清掃 (ドアノブ、エレベーター、ジム器具など)を心掛ける

WHO はこの中間ガイダンスに対する変更がないか状況を逐次監視しています。 いかなるものでも要素に変更があった場合、WHO は更新版を発行します。 更新がない場合は本中間ガイダンスは発行後 2 年後に失効します。

© 世界保健機構 2020 権利の一部を保有します。本書は [CC BY-NC-SA 3.0 IGO](#) ライセンスの下で利用可能です。

WHO 参照番号 WHO/2019-nCoV/Mass_Gatherings_Sports/2020.1

この翻訳は非公式な私訳であり、内容の正確さについて訳者は責任を負いません。
連絡先: ikono@rally-go-round.net